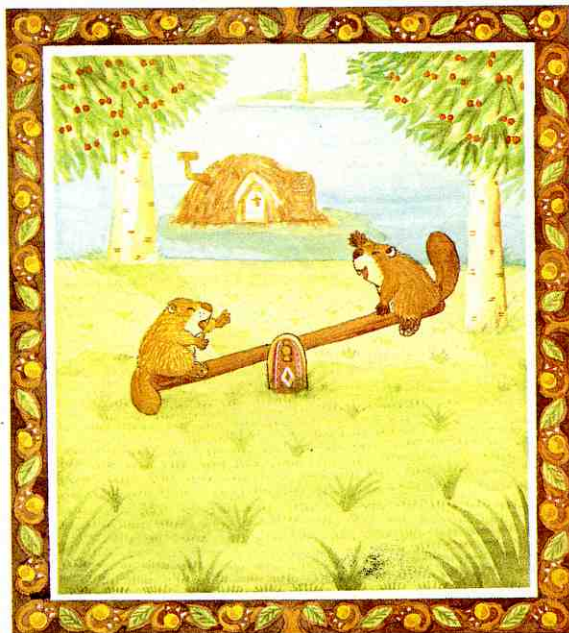


たろうくん と
 はなごちゃん は
 だいの なかよし。
 なにをやるにしても
 いつも いっしょ・・・



2



3

カーニバルのひの ことでした。
 たろうくんは カーニバルのための
 おめんを かぶって とつぜん
 はなごちゃんのまえに あらわれたのです。
 「ワッ！」
 「キヤーッ！」
 はなごちゃんは びっくりして・・・



4



ピチャッ
 おめんは グチャグチャ

5

「えーん えーん」
 「・・・・・・」
 「たろうくんの いじわる」
 はなごちゃんは
 おこって かえってしまいました。



6

「わざとじゃないのに・・・」
 たろうくんは こころのなかで
 そうおもいました。
 「はなごちゃんなんか いなくなつて
 ひとりで へいきだもん」



7

・
つづき
・

「あら はなこちゃんは どうしたの？」 おやつを はこんできた おかあさんが いいました。
「しーらないっ」 たろうくんは そっぽをむくまま。
でも ひとりでたべる おやつは なぜか おいしくありません。

ひとりでやる シーソーも・・・ だいすきな かくれんぼも・・・ ころんでも たすけてくれるひとが・・・

「はなこちゃんに あやまらなかったから たのしくないことばかり おこるのかな？」
そうおもうと わるいことが つづきます。

おふるに はいってはい せっけんが めにしみる・・・

ごはんのときは きらいなものだけ ならば・・・ ペットの カメまで どこかへ いってしまう・・・

「はなこちゃんに あやまったら？」 と おかあさんは いうけれど 「わざとじゃなかったのに・・・」
どうすればいいんだろう どうすればいいんだろう

ヒュー！ パーン！

まどのそとでは カーニバルの はなびが はじまりました。
そのときです。 ところにたまっていた なにかも パーン！ と はじけたのです。

もう いやだ。 はなこちゃんに あいたい！」

ひとりでいるのが たまらなくなった たろうくんは いえを とびだしました。
すれちがうのはカーニバルに行く ひと・ひと・ひと

「おばさん はなこちゃんは？」 「あら、もう でかけちゃったわよ」 たろうくんは あわてて おいかけます。

ところが カーニバルの かいじょうは おめんの かお・かお・かお 「どこにいるのだろう・・・」

たろうくんは しかたなく みんなのまえで おおきなこえで ゆうきをだして いいました
「はなこちゃん ごめんなさいっ」

「・・・・・・・・」

カーニバルの かいじょうは ワイワイ ガヤガヤ とても にぎやかです。

「はなこちゃんに ちゃんと きこえたかな？」 たろうくんは しんぱいになりました。
すると おめんの やまのなかから・・・

ヒョコッ！

「たろうくん・・・」 「はなこちゃん！」 ふたりは うれしくなって だきあいました。
「ごめんね」 「こっちこそ ごめんね」

ヒューッ！ パーン！ よぞらは はなびで キラキラ ふたりの こころも キラキラ
いっしょにみる はなびは とくに きれい・・・

やっぱり ともだちって いいね・・・

ストーリー中、**たろうくん**（主人公）は10カ所、**はなこちゃん**（副主人公）は13カ所です。